

## 全国医療介護連携ネットワーク研究会 会員向けWEBセミナー

# ～コロナ渦での地域包括ケアとICT、オンライン診療について～ 抄録

**開催日時** 2020年11月21日(土)14時40分開場 15時～16時30分

### プログラム

<第一部> 基調講演  
座長：土屋淳郎（全国医介連会長、土屋  
医院院長）

講演1：「診療所における医療DX」

目々澤醫院 院長

目々澤 肇 先生

講演2：「コロナ渦におけるオンライン診療の普及と課題」

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長

医療法人社団鉄祐会 理事長 武藤 真祐 先生

<第二部>ディスカッション  
座長：山下巖（全国医介連副会長、山下診療所理  
事長） 視聴者参加のディスカッションを行います

各講演に対しての質疑応答や今後の医介連の取り組みへの期待等もお聞かせくださ  
い

・株式会社マイシン「curon(クロン)」

・株式会社インテグリティ・ヘルスケア「YaDoc」

---

# 講演要旨

## <第1部> 基調講演

### 講演1：「診療所における医療DX」

目々澤 肇 先生（目々澤醫院 院長）

新型コロナウイルス感染症の蔓延化に伴い、オンライン診療が一時的にせよ規制緩和に向け動き出し、患者発生登録などの電子化が進められてきたのと同時に、各種申請などの電子化も一気に動き出しました。これまで医療は情報の共有化などの面でデジタル化が一番遅れていると言われており、コロナ禍によるきっかけでDX(デジタル・トランスフォーメーション:デジタル技術を活用したサービス・事業形態の変容)が起き始めています。目々澤醫院ではかねてからいくつかのICTを利用した院内・院外の装備・サービスのデジタル化を進めていました。まず、院内では1MeDaCaによる患者さんへのデータ配布、2curonを用いたオンライン診療、3ユビーによるAI問診、4電子聴診器nexstethoの利用、さらに院外との連携では1配置医を務める特別養護老人ホームの往診には「Open Dolphin Pro」をVPNで使用、2そこの毎日の連絡にはMdecical Care Station (MCS)の利用、3後方支援をしてくれる病院との東京総合医療ネットワークを介した電子カルテ閲覧、などが挙げられます。今回はこれらのいくつかについてご紹介をいたします。皆さまのご参考になれば幸甚存じます。

### 講演2：「コロナ渦におけるオンライン診療の普及と課題」

武藤 真祐 先生 医療法人社団鉄祐会 理事長

株式会社インテグリティ・ヘルスケア 代表取締役会長

新型コロナウイルス感染症拡大によりオンライン診療の規制緩和は進んだ。それまでは利用例が少なかったために利便性や安全性の評価をすることも困難であった。特例措置により導入医療機関や利用患者が増えているが課題も多い。この講演ではオンライン診療の今後の見通しと普及の課題について私見を述べたい。

## 協賛企業紹介

株式会社メディアコンテンツファクトリー

<https://www.media-cf.co.jp/>

株式会社インテグリティ・ヘルスケア

<https://www.integrity-healthcare.co.jp/>

ベルシステム24

<https://www.bell24hd.co.jp/jp/>